

Service News サービス・ニュース

iPad館内貸出サービス
情報収集にご利用ください

司書おすすめ! 便利な無料アプリを搭載



e六法

政府、裁判所のwebサイトのデータをもとに法令等を表示する電子版六法全書。



Yahoo!ファイナンス 株価マップ

株式市場全体の動きを3D画像で視覚的に見渡せるアプリ。銘柄の詳細や企業情報も表示。



鳥獣戯画

平安〜鎌倉に描かれた絵巻物『鳥獣戯画』甲巻乙巻を収録。絵巻を繰り広げられるように見られます。



e国宝

国立文化財機構の公式アプリ。約千点の国宝と重要文化財の画像を様々な角度から閲覧可能。



e食材辞典

380以上の食材と3600以上のレシピを収録。食材の見極め方、下処理法なども。第一三共(株)提供。



Yahoo!乗換案内

鉄道、バス、飛行機も経路検索ができます。鉄道の運行情報、終電後探索など便利機能満載。

Web図書館で「ちりめん本」



明治時代の稀覯書「ちりめん本」(当館所蔵)が縮小仕立てにした紙の質感そのままに、インターネット上でご覧いただけるようになりました。当時、外国人向けのお土産品として人気があり、「桃太郎」舌切り雀など日本の昔話が英語で書かれています。江戸時代の浮世絵の技法を用いて作られた色鮮やかな絵本をページをめくりながらお楽しみください。

※千代田区図書館のホームページからWeb図書館にログインすれば、どなたでも閲覧可能です。

聞蔵Ⅱ スマホ版

朝日新聞・アエラ・週刊朝日の過去10年分の記事を、テーマやキーワードで検索できる朝日新聞社のデータベース。調べものや時事ネタ収集におすすめ。聞蔵Ⅱスマホ版に関するアンケート実施中です。ご協力ください。(提供期間2014年3月31日まで)

ZONE PICK UP! 2F オレンジゾーン

【法律・政治・ビジネス・統計・参考図書】などの本を集めた図書フロア

『物流×消費2014～モノの流れの明日を読む～』

国際物流ハブ、TPP(環太平洋パートナーシップ)協定、フェアトレード、フードデザートなど、物流と消費を取り巻く環境は変化の中にあります。国際的な課題と地域的な課題が交差する物流と消費について考えるための本を集めました。

一緒に考えてみませんか?

- TPPで生活はどう変わる?
- 消費者の高齢化、過疎化、孤立化
- グローバルなモノの流れ

■「UPDATE -ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ欄-」
■常設展示 ▶「アメリカンシェルフ」

1 Exhibit Information 月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** 「傍楽(はたらく)ことと生きること 江戸ユートピア」(1月中旬～) 外国人から見たニッポン—江戸についての印象を中心に研究本や当時の写真などを紹介します。
■「エドノミクス 江戸の経済事情」(～1月中旬) ■「午・馬・うま」(三角台)
- 2F ホール** 「2013年あなたにとって一番印象に残った一冊は?」(～1月中旬) “2013年あなたの一冊”を募集しています。りんご型のふせんにも本の題名を書いて貼って下さい。階段脇の柱に貼り出します。
- 3F ブルーゾーン** 「解説で選ぶ本」 普段、何気なく目にして「解説」に焦点を当て、タイトルや著者名からではない、“第三の目”から選ぶ読書を提案します。
- 3F グリーンゾーン** 「ものづくりからfabricationの時代へ!」 印刷技術、地図、家電などの今と昔とを比べながら、誰もが生産者となり得る、この時代のものづくりを考えます。
■「グリーン・イノベーション～環境と接続可能な社会の実現に向けて」

わたしの一冊

当館スタッフの推薦本をご紹介します。おすすめする人 館長 山岸幸雄

『里山資本主義』 藻谷浩介、NHK広島取材班共著

「狭い日本、そんなに急いでどこへ行く!...こんな標語?」がかつてあった。この国には1億2千万人が暮らしている。大都市は飽和状態でも地方には限界集落が多く出ている。環境への負荷は自然の治癒力を超えているともいわれる。ならば、豊かな自然の復活が急がれる。そこにはさまざまな意見がある。この本は自分で考える素材の一冊になるのではないかな。」

藻谷浩介、NHK広島取材班共著

角川書店 2013年

里山にはお金に換算できない価値があるという視点から、NHK広島取材班と地域エコノミストが日本経済の新しい原理を追及する一冊。

千代田区立日比谷図書館 広報誌

明けてまして おめでとう ございます

旧年は多数の方にご利用をいただき御礼申し上げます。本年も当館では、図書館機能とミュージアム・学習・交流の機能を統合した複合施設として、それぞれの分野で新しい事業・業務に意欲的に取り組んでいく所存でございます。多くの方のご来館、ご利用をお待ちしております。本年の皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成二十六年元旦



明治時代の東京の元旦

人々は初日の出を拝むために、未明に起き、上野・湯島・神田・愛宕・九段坂などの高台、あるいは洲崎・高輪の浜辺に出かけました。初詣はその年の恵方の方向にある神社に参拝するほか、七福神詣をする人も多く、谷中の七福神(谷中五重塔内の毘沙門天ほか)・向島の七福神(長命寺の弁財天ほか)・山の手の七福神(目黒不動の恵比寿ほか)などがよく知られていました。(『東京風俗志』平出鏗二郎 明治32年(1899年)～ 富山房より)

※初刊の複製本(当館 特別研究室蔵)は現在、2階図書フロアガラスケースに展示中。

calendar 開館時間: 平日10時～22時、土曜10時～19時、日祝10時～17時、休館日

2014年 1月							2014年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 URL: http://hibiyal.jp
TEL: 施設代表 ▶ 03-3502-3340 図書総合カウンター ▶ 03-3502-3343

図書特別整理による部分(図書フロア)休館のお知らせ

■2014年1月18日(土)、19日(日)

図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。(図書の貸出・閲覧席の利用等ができなくなります。本の返却は国会通り側ブックポストをご利用下さい。一部の資料を除く)図書フロア以外の施設は通常どおり利用できます。(1月18日(土)10時～19時、1月19日(日)10時～17時) 1月20日(月)は休館日です。(文化財事務室は除く)

1・2月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」本「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

1/9 (木) シリーズ「文化資源の愉しみ方」第1弾 『響夜学～経営と文化のいい関係を考える～』 第2回「小布施町 30年の軌跡」

講師：市村 次夫（株式会社小布施堂、株式会社舞一市村酒造場代表取締役）

北信地域随一の文化のまち、地域振興のモデルとして、世界的にも著名な長野県小布施町で酒造業や菓子業を営む小布施堂は、景観や街づくり、地域活力の源である人材育成などに大きな力を発揮しています。「響夜学（ひびやがく）～経営と文化のいい関係を考える」シリーズ第2回は、小布施堂の市村次夫氏を招き、地域の経済活動に文化資源や文化事業をいかに位置付け、持続性ある活動として何を次世代につなげるかを考えます。（主催：一般財団法人デジタル文化財創出機構／企画：連想出版）

- 日時：1月9日（木）講演：19:00～20:00（18:30より受付）懇親会：20:15～21:15
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：40名 ■参加費：3000円（懇親会費用含む）

2/12 (水) 第3回「宝塚歌劇100年～東京宝塚劇場を中心に～」

講師：久保 孝満（阪急電鉄株式会社創遊事業本部歌劇事業部・東京宝塚劇場総支配人）

兵庫県の鄙びた温泉地に「宝塚歌劇団」が誕生して100年を迎えます。阪急電鉄を創業し、大衆の生活向上、文化向上を常に考えていた小林一三が、「老若男女誰もが楽しめる国民劇」をめざし創設された宝塚歌劇は、いまや日本のみならず海外にも広くファンを獲得しています。鉄道会社がこうした劇団を保有し続けるのは、宝塚歌劇が一世にわたって続いてきたのはなぜでしょうか。会社経営と劇団興行との関係性から、文化と経済のあるべき関係を考える、シリーズ最終回！（主催：一般財団法人デジタル文化財創出機構／企画：連想出版）

- 日時：2月12日（水）講演：19:00～20:00（18:30より受付）懇親会：20:15～21:15
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：40名 ■参加費：3000円（懇親会費用含む）

1/10 (金) 千代田区民講座 脳と心 人体の神秘を語る

講師：林 勝彦（元NHKプロデューサー、科学ジャーナリスト）

生命38億年の進化の結晶であり、神秘に満ちた人体。最大の謎は「脳と心」と言われて、心の病を患う人もいなければ、100歳をいて、NHKスライムDNAなどの元

- 日時：1月10日（金）19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：60名 ■参加費：無料

1/15 (水) ほか できるグローバルビジネスパーソンになるための財務塾2013 企業価値創造の総まとめ

講師：手島 直樹（経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル（株）代表取締役）

第1回目は「経営再建」に成功した企業、もしくは成功しつつある企業を取り上げ、復活への足取りを辿りながら企業価値創造のプロセスを確認します。第2回目は、「創業経営者の経営」を取り上げ、リスクをコントロールしながら企業価値を創造している彼らの経営のツボについて考えます。

- 日時：1月15日（水）第1回 「どのように企業は再生されるのか？」 1月29日（水）第2回 「創業経営者の経営は何が違うのか？」
- いずれも19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階スタジオプラス（小ホール）
- 定員：40名 ■参加費：3000円（2回分）

教えて！ 図書館用語 【欠本（けっぱん）】全集のようなシリーズものの図書で、一部の本が欠けていること。また、その欠けている本そのものを指すこともある。欠本のないものは「完本」、欠本が多くて残りが少ないものは「残本」「端本」等と呼び、逐次刊行物の一部が欠けている場合は「欠号」となる。

▶参加申込：電話（03-3502-3340）またはEメール（college@hibiyal.jp）にて、講座名、お名前（よみがな）、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

1/16 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー第5回 内田嘉吉文庫に学ぶ明治の和魂洋才

講師：菅谷 彰（千代田図書館ゼネラルマネージャー）、水谷 剛・鈴木 一郎・白井 良雄（日比谷図書文化館特別研究室ナビゲーター）

特別研究室ナイトセミナーが100回を迎えたことを記念し、その成果報告として、内田嘉吉など明治の偉人たちの和魂洋才の姿勢ならびに、和魂洋才の教養（リベラルアーツ）の宝庫である内田嘉吉文庫活用の意義について、特別研究室ナビゲーターがお話します。

- 日時：1月16日（木）19:00～21:00（18:30より受付）
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名 ■参加費：500円（千代田区民無料）
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

HIBIYAイノベーション・キャンパス 「【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考－解空間の見える化からアイデアを創造する」

講師：石橋 金徳（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科特認助教） 富田 欣和（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員） 麻生 陽平（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）

好評【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考」の第3弾。初参加の方、第1・2弾に参加された方も新たに学べる内容です。新規ビジネス提案から職場の人間関係構築まで、様々な場で役立つイノベティブ思考をぜひ体験してみてください。ワークショップ初心者の方も大歓迎です。（主催：イノベティブ・デザインLLC）

- 日時：1月22日（水）19:00～21:00（受付開始18:30）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：48名 ■参加費：3000円

2/5 (水) ほか 『【実践シリーズ】イノベティブ・デザイン思考－「人のつながり」をデザインする』※全3回シリーズ

講師：石橋 金徳（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科特認助教） 富田 欣和（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員） 麻生 陽平（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）

ビジネスパーソンを対象に、新たな視点で創造的な答えを導くイノベティブ思考を学ぶ実践シリーズ第2弾。3回のワークショップを通して集合知を活かし、新たなテーマに新たな手法を交え、アイデアやコンセプト創造などより実践を意識したプロセスと手法を学べます。（主催：イノベティブ・デザインLLC）

- 日時：第1回 2月5日（水）、第2回 2月19日（水）、第3回 3月5日（水）
- いずれも19:00～21:00（18:30より受付）
- 会場：4階 セミナールームB（会議室） ■定員：24名 ■参加費：10,000円（全3回分）

1/24 (金) 東京宝塚劇場 開場80周年カウントダウンイベントⅣ わが青春のタカラヅカ

講師：高橋 真琴（画家）

東京宝塚劇場が開場した1934年、時を同じくして生まれ、今なお華やかで繊細な彩色の少女画を描き続ける画家、高橋真琴氏が愛してやまない宝塚歌劇についてその出会いから、東京宝塚劇場の思い出、印象に残るタカラジェンヌ、少女画への影響など存分にお話いただきます。

- 日時：1月24日（金）19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■参加費：1000円（千代田区民500円）※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

1/26 (日) 美術を教えるのは何のため？

講師：山根 基世（元NHKアナウンス室長）、笹戸 千津子（彫刻家） 西郷 南海子（『子どもの美術』研究者）

『幻の教科書』と呼ばれ、高い評価を得ながらも実際にはなかなか手にすることができなかった佐藤忠良・安野光雅編『子どもの美術』の復刊を記念し、本書にゆかりのある三人の女性によるトークイベントを開催。『子どもの美術』復刊の経緯、佐藤忠良先生の人柄と業績、日本美術教科書の実態と『子どもの美術』の教科書業界への挑戦など、多岐にわたるテーマでお話いただきます。（主催：株式会社復刊ドットコム）

- 日時：1月26日（日）14:00～15:30（13:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：50名 ■参加費：500円（千代田区民無料）
- ※『子どもの美術』解説を無料配布 ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

1/30 (木) 読書の醍醐味～プロフェッショナルの読書習慣～ 第1回「二回半」読む

講師：橋本 五郎（読売新聞特別編集委員）

書評家、歌人、作家、脚本家など、読書のプロフェッショナルをお招きし、本を読むことの醍醐味とそれぞれの読書習慣を披露していただく全3回講座です。第1回は、親しみやすい語り口と明快なテレビ解説、新聞の名コラムで馴染みの読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏に、書評をするにあたって本を読み込む際に行う、「二回半」読む読書法などについてお話いただきます。（主催：公益財団法人上廣倫理財団）

- 日時：1月30日（木）18:30～20:00（18:00より受付）
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 参加費：500円（千代田区民・学生無料）※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生は学生証をお持ちください。
- <第2回予告> 2月26日（水）18:30～20:00 「資料の一行からドラマを作る」山本 むつみ（脚本家）

1/31 (金) 日比谷コトづくり塾 第5回 グローバル時代の物産販売戦略 ～物産の販売から地域の産業振興へ～

講師：コーディネーター：河井 孝仁（東海大学文学部広報メディア学科教授）

事例発表者：寺本 英仁（鳥根県邑南町商工観光課主任） 大茂 竜二（熊本県合志市事業部農政課課長補佐）

「グローバル時代の物産販売戦略」をテーマに基調講演・事例発表・鼎談を開催。コーディネーターに河井孝仁氏をお迎えし、「活力協働まちづくり推進団体表彰グランプリ」（同協会主催）を受賞した邑南町（鳥根県）、合志あぐっと！村（熊本県）と共に開催いたします。（主催：一般社団法人 日本経営協会）

- 日時：1月31日（金）13:30～16:30（13:00より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■参加費：5250円

2/6 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー 第6回 久米邦武と吉田東伍

講師：森田 健太郎（日比谷図書文化館特別研究室ナビゲーター）

『米欧回覧実記』を著した久米邦武と『大日本地名辞書』を著した吉田東伍は、父と子ほどの歳の差がありながらも、互いに歴史研究に切磋琢磨し、日本の伝統芸能である能楽の再興にも尽力しました。このセミナーでは、「和魂洋才」的教養を代表する二人の書物と交流についてお話します。

- 日時：2月6日（木）19:00～21:00（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：40名
- 参加費：500円（千代田区民無料）※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/11 (火) ピースビレッジ第20回 世界連邦21世紀フォーラム設立6周年記念講演 「世界創造マップ Ver.1.0」

講師：木戸 寛孝（NPO法人世界連邦21世紀フォーラム 理事長）

社会は閉塞感が覆っていますが、それは「新たな社会が生まれ出る前兆」として見ることもできます。私たちを取り巻く世界を11の階層に分け、各階層で生じる「矛盾」を「新たな世界が生まれる可能性の最前線」として捉え、これから起きるであろう社会変革を洞察します。（主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム）

- 日時：2月11日（火）14:00～16:30（13:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■定員：60名 ■参加費：3000円

特別研究室 ミニ通信 特別研究室企画展示 「近代日本を支えた江戸・明治の教養」第2部 「和魂洋才－明治時代の日本人が希求した新しい日本のための書物」

1月5日（日）～3月16日（日）

明治時代、近代化を目指した日本では、西洋の文化や科学技術を吸収しつつ、日本独自の教養の構築を目指す「和魂洋才」の流れがありました。明治後期に入ると、その一つの集大成として、百科事典などの近代的な書物が日本人の手によって次々と出版されます。本展では、特別研究室の蔵書から、「坂の上の雲」の時代の日本人が編纂した教養書の数々を紹介します。

- お問い合わせ等は特別研究室（03-3502-3340/内線429）までお願いいたします。

古文書塾でらこや発！ 江戸文化特別講座（全7講座）

日比谷カレッジ「古文塾でらこや」の多彩な講師陣による特別講座を開講いたします。江戸時代を中心とした資・史料、伝書、手紙などを用いながら、具体的に歴史の真実に迫ります。各講座とも全5回での開催となります。

- 「浮世絵を読む」 ■日時：1月27日（月）～ 15:00～16:30 色鮮やかな浮世絵版画を「読み」ながら、江戸文化を講喫します。
- 「文人画と碑文－掛軸を読む－」 ■日時：1月6日（月）～ 18:30～20:00 ぐずし字と漢詩文の両方を学びながら、豊饒な文人世界を読み解きます。
- 「大久保利通の手紙を読む」 ■日時：1月7日（火）～ 19:00～20:30 建白書などを通じて、大久保の軌跡を具体的に深く理解します。
- 「ぐずし字で読み解く茶の湯の伝書」 ■日時：1月9日（木）～ 13:30～15:00 江戸時代の人々がどのように茶の湯を享受していたかを探ります。
- 「江戸を楽しむ－年中行事－」 ■日時：1月16日（木）～ 18:30～20:00 江戸時代の人々の生活に密着していた年中行事のよまやま話を楽しみます。
- 「絵と文字で楽しむ 江戸歌舞伎（入門編）」 ■日時：1月18日（土）～ 10:30～12:00 ぐずし字についても歌舞伎についても、一からお話しします。
- 「絵と文字で楽しむ 江戸歌舞伎（応用編）」 ■日時：1月18日（土）～ 14:00～15:30 江戸歌舞伎の名作を、ぐずし字で読み解きます。

ライブラリーショップ＆カフェ日比谷 冷えた体を温めてくれる、冬らしいメニューをご用意いたしました。12月から新登場の「りんごとキャラメルミルクレープ」が大人気です。ぜひご賞味ください。ショップではプレゼントにぴったりの絵本やグッズを集めました。中でも奥野かるた店のかるたとトランプがおすすめです。

予告 平成25年度 文化財企画展 「千代田“新発見”－新収蔵・新発見資料展－」 千代田区による歴史民俗資料の収集は、昭和47年（1972）より始められました。本展示では、近年の資料収集や資料調査の成果を広く知っていただくため、「新収蔵資料」と「新発見資料」に分けてそれぞれの資料を展示いたします。 ■会期：1月27日（月）～3月3日（月）（2月17日（月）は休館日） ■入場無料